

札幌市営地下鉄南北線において、更新工事中のポイントの部材が接触したため、車両のパンクが発生し、復旧作業のため一部区間に運休が発生いたしました。
その発生原因及びその後の対応等について、以下のとおりお知らせいたします。

1 発生日及び発生場所

令和6年4月22日（月） 麻生駅南側ポイント付近

2 発生原因

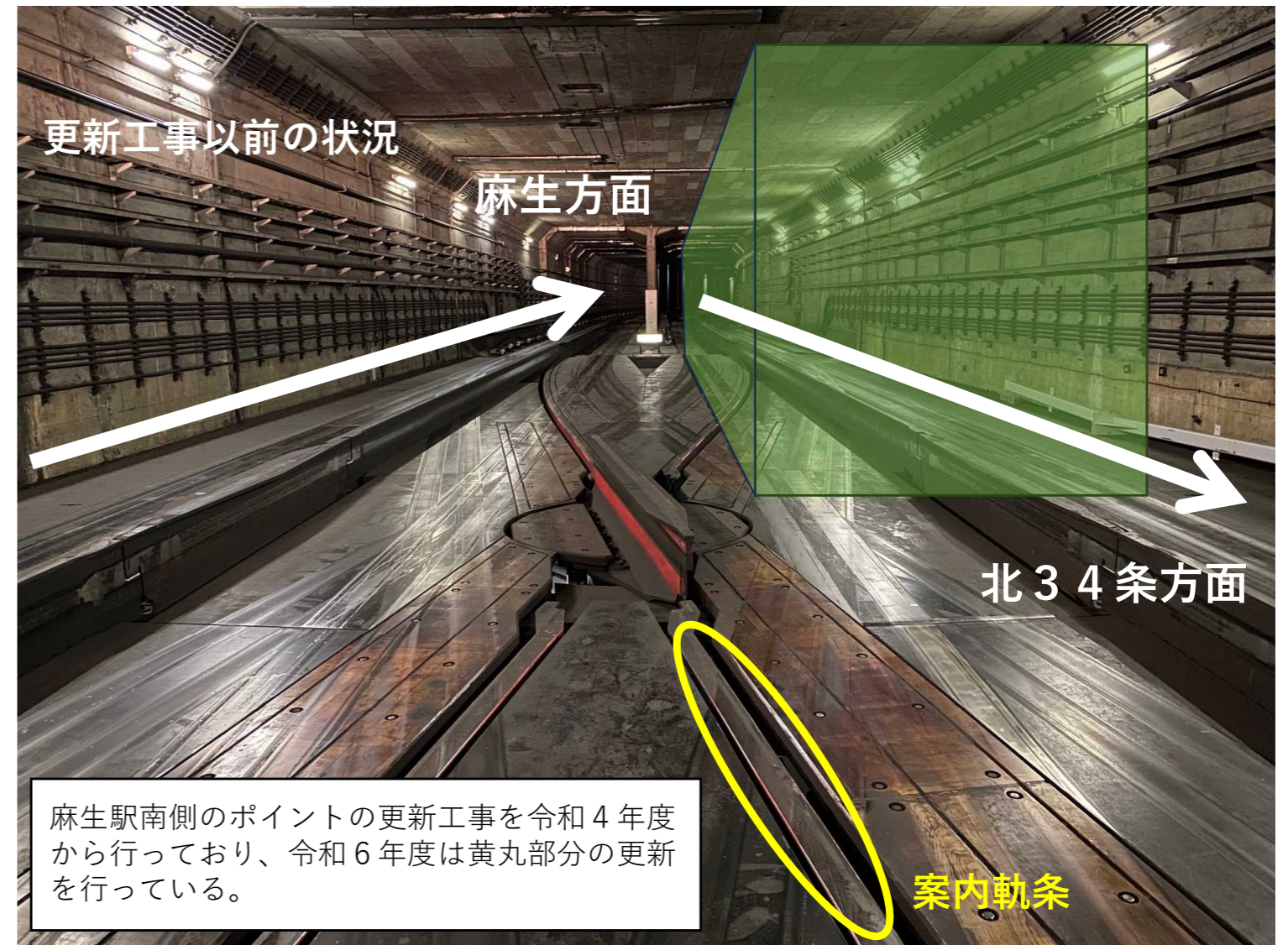
開業時に設置した麻生駅南側のポイントが更新時期を迎えていることから、令和4年度より更新工事を実施している。

工事の過程において、旧案内軌条を3分割し、そのうちのひとつを走行路の隙間に埋めるために設置していた。その部材が車両の振動等によりずれて走行路面より上に突出したため車両のタイヤと接触し、パンクしたものと推測される。

3 その後の対応

22日20時10分より原因となったポイントの部材を撤去、新しい案内軌条の設置を予定より早め、走行に支障がないよう対策を実施し、23日始発から通常運行とした。

ポイントの部材が想定外に突出していた原因などは施工業者と設計図面や現地の状況により原因を究明しているところであるが、早急にポイント不具合に至った経緯や原因を特定し、再発防止を行っていく。



車両が走行する路面の隙間を埋めるために旧案内軌条を3分割した部材を使用していた。

部材の端部が走行路面より上部に飛び出していたと推測される。

